

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	久米川保育園
日時	令和7年11月17日

1. 活動テーマ

<テーマ>

自然・・・3歳児「どんぐりとどんぐり虫」

<テーマ設定理由>

10月から散歩に出掛けている。近隣には原っぱや霊園、団地内の公園にどんぐりのみをつける樹々が生い茂っている。子ども達は散歩途中でどんぐりを見つけて集めて保育園での遊びに使って楽しんできた。どんぐりで遊ぶ中で子どもが気付いたことについて探究活動を行った。

2. 活動スケジュール

10月より散歩に出掛けている。
散歩スケジュール 10月23日、29日
11月5日、12日、13日

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・どんぐりを入れる入れ物 ・どんぐり ・園庭に落ちていた自然物（小枝）

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・どんぐりを散歩で見つけてきて以来、園庭でどんぐりを使って遊んでいる。
- ・どんぐりをたくさん入れた入れ物の中で、どんぐり虫がいることに子どもが気付く
- ・どんぐりの中から出てきたことを子どもが気付いて、どんぐりの皮をむいてみようとする。
- ・入れ物の中にあるどんぐりを触ろうとする。
- ・入れ物の中のどんぐりをどんぐりの帽子の中に入れて持ち歩いたり、眺めたりする。
- ・どんぐりを手で触ろうとはしないが、園庭で見つけた小枝を使って突いたり、スプーンのようにして掬おうとする子どもがいる。
- ・友達に見せたり、見つけたどんぐり虫を友達に知らせたりして会話ややり取りをする。
- ・保育士に見せて喜ぶ。
- ・どうしてどんぐりに入っているのか気になっている。
- ・気になってどんぐりの皮をむき始める。
- ・どんぐりの柔らかさに気づいてそっと触ろうとする。
- ・どんぐり虫の食べ物何か気になる。

平らな入れ物の中に、たくさんどんぐりが入っている。
子どもがどんぐりを割ったところ、中からどんぐり虫が出てきた。

どんぐりの帽子の中にどんぐり虫を数匹入れて手にもっている
T: あら、どうしたの？これ。
A: 幼虫が、動いてる。
T: 動いてる？うん。楽しそうだね。
あ、落っこっちゃった。あ。
どんぐり虫を落としてしまったことに気づかず踏んでしまった。

B: 割れる木（木片）、見つけた。
木片でどんぐり虫をつついたり、スプーンのように掬い取ろうとしている。
T: 入れてあげる？どんぐりむしさんのところ。
C: 入れてよ。
A: うん、じゃあそれ入れあげよう。
T: 一緒に遊べるかな？
B: 入れたよ。

子どものつぶやき

- ・「ここにも穴あいてるよ」「ぼくの中にも入ってるかな？」
- ・「こっちは白いのが入ってる」「これはカラだけだ」
- ・「やわらかいね」
- ・「さっきのどんぐりは虫いなかったね」
- ・「割ってみよう」「見せて、見せて」
- ・「〇〇ちゃんの、ちっちゃい虫いた」
- ・「じゃあここにあつめよう」
- ・「虫さんビックリしてる」「つぶさないようにそーっとね」

子どもの様子

- ・木片で突いている子ども～手では触ろうとしない
- ・手で掴もうとして入れ物の中を探っている。
- ・どんぐりの穴を見つける子ども
- ・穴から出てくることが分かって、どんぐりを割ろうとする子ども



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・どんぐりを割ることで「見えない中身を確かめたい」という探究心が育っている。
- ・同じどんぐりでも「虫がいるもの・いないもの」があることに気づき、違いに注目したり「なんでだろう？」と原因を考え始める姿が見られる。
- ・小さな虫の存在に驚いたり興味をもつことで、生き物への関心が育まれる。
- ・どんぐり虫は柔らかい生き物なので「大事に扱う」「触り方を考える」などを考えるきっかけになるのではないか。
- ・友だちと一緒にどんぐりを見せ合ったり話したりすることで、言葉で伝える力や割ってみることを試すことや中身がどうだったなどを共有することにつながる。
- ・子どもの「もっと知りたい」という気持ちを受け止め、どんぐりやどんぐり虫の図鑑、虫眼鏡、トレイなどを用意して、継続して調べられる環境を整えられるといいのではないかと
- ・危険のない範囲で、どの程度まで割ったり触ったりしてよいのか、道具（割る物・入れる容器など）の提案することも探究を広げていくことになるのでは。
- ・「ほんとうに虫かな？」「ほかのどんぐりはどうか？」など、答えを言う前に子どもの考えや予想を引き出す対話が大切なのではないか
- ・「虫もどんぐりを食べて生きてるんだね」など、自然や命のサイクルについて子どもに届く言葉で簡潔に伝えられることも必要なのではないか。
- ・この経験を保育のねらい（自然への関心、感性、思考力、言語表現など）とどうつなげて記録し、保護者と共有したい。
- ・どんぐり虫のいるもの・いないものの考察ができてよかった。
- ・どんぐりや落ち葉を使った製作遊びと組み合わせて、「虫が食べた跡」「きれいなどんぐり」など、子どもが気づいた違いを表現につなげることもできる。